

富士川流域川づくり勉強会 開催概要

テーマ：富士川の河川環境について

日 時：2024 年 8 月 8 日（木）15：30～16：50

場 所：道の駅富士川2階水防対策室／オンライン開催（Teams）

参加者：29 名（会場参加 24 名、Web 参加 5 名）

内容：・富士川流域の概要

- ・河川の利用
- ・水利用の現状
- ・河川流況
- ・維持流量の設定について

質疑応答でいただいた主なご意見 （ご意見は、今後の河川行政の参考にさせていただきます。）

- ・維持流量の検討項目に地下水は検討に入れた方が良かった。
- ・下水道の負荷は、下水道が出てくる地点を意識しておいた方が良い。
- ・5月に「生物の生息・生育・繁殖の場としてもふさわしい河川整備及び流域全体としての生態系ネットワークのあり方」の提言が出ている。生態系は、数についても議論するべきと考えている。
- ・「正常流量検討の手引き（案）」では正常流量は、維持流量＋利水だが、利水ありきの算出方法は、問題があると考えている。
- ・C、D 区間では、堰から 3m³/s、5m³/s の流量を放流しているが、中期目標は、それよりも少ない部分がある。この流量に向けて減らすという考え方はあるのか。
（回答⇒）C 区間の維持流量は 8.8m³/s なので、現在の流量から減らすことは考えていない。
- ・最近、大きな洪水が無く土砂移動が少ないため、川の形が生物が住みにくい形になっているのではないかと考えている。
- ・維持流量は流量で話をされているが、情報出ているのは水位なので、流量を把握することができない。流量が公開されるようになると良いと思う。
- ・決めた正常流量が、実際にどうだったか評価するしくみが必要だと思う。また、我々市民も話をできるような場所が必要だと思っている。
- ・正常流量を決めることになると思うが、検討会があるとのこと。議事録等を市民へ共有いただきたい。
- ・維持流量の景観評価は、全体がポイント化できていないと思う。次回行うようなことがあれば、景観評価の項目はシンプルにし、市民も評価に参加できるようにして欲しい。
- ・環境の観点で富士川では、水量、土砂管理、濁りが課題と考えている。土砂管理はたまり続ける土砂が問題であり、海岸域も含めて総合土砂管理計画を検討する必要があると思う。
- ・維持流量が令和 5 年 3 月に設定された際に、「段階的な流量確保に向けた取り組みをおこなっていくこととされている。」、今後の取り組みを目に見える形で早急に進めてほしい。



勉強会での説明状況



勉強会会場出席者の状況